



独立行政法人国際協力機構
関西センター
2026年 2月 20日

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2025 和歌山の受賞者へ賞状を授与

JICA が実施する「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」では、2025 年度「世界の幸せのために私たちができること～未来へつなげるために～」をテーマに作品を募集しました。

この度、全国からの応募総数 29,854 作品(中学生の部:11,943 作品、高校生の部:17,911 作品)の中から、「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」を受賞した生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と国際協力経験豊かな JICA 関西・和歌山デスク(国際協力推進員※)が、国際協力や SDGs 等について懇談予定です。

※ 地域の JICA の窓口として、地域国際化協会など地方自治体が実施する国際協力事業の活動拠点に JICA が配置しています。

世界との繋がりがますます深まる現在、未来のために、和歌山の中学生・高校生が何を考え、どのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

受賞生徒、学校教諭、和歌山デスクへのインタビューが可能です。

【日程】 2月27日(金)14:00～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
古座川町立 明神中学校	国内機関長賞	3	平和な世界こそが私たちの幸せ	東牟婁郡古座 川町一雨16
	学校賞(※)			

(※)60 作品以上または全校生徒の 3 割以上の応募があった学校が対象

【日程】 3月4日(水)15:30～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
和歌山県立 桐蔭高等学校	国内機関長賞	2	世界をつなぐ幸せの多様性	和歌山市吹上 5-6-18

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課
TEL:078-261-0384

<参考>

【受賞作品概要】

●国内機関長賞 古座川町立明神中学校 3年

タイトル: 平和な世界こそが私たちの幸せ

現在、世界各地で戦争や紛争が続いており、ニュースで見ると胸は痛むが、どこか他人事のように感じていた。私達の世代は戦争を体験したことがない。だからこそ、戦争の悲惨さを知り、自分に何ができるか考え行動する必要がある。私は小学生の頃に「はだしのゲン」を読み、原爆投下で人が次々に無残な姿になる様子に鳥肌が立ち、何回も読み返した。もっと戦争について知る必要があるという思いが強まり、親をお願いして広島原爆資料館に連れて行ってもらった。今この世界で、戦地で暮らす人々や前線で戦う人々は家族を失い自らも死の恐怖にさらされているが、それを他人事と思っははいけない。一人ひとりができることを考え、行動し社会を変化させる必要がある。私は全ての人が幸せに暮らせる社会を作りたい。そのために世界の色々なことを知り、色々な場所や人や物に触れて、色々な価値観を体験する。そして、私の思いを実現するために私なりの答えを追い求めたい。

●国内機関長賞 和歌山県立桐蔭高等学校 2年

タイトル: 世界をつなぐ幸せの多様性

私にとっての幸せは「よい学歴を手に入れお金を稼ぐこと」と考えていた。しかし、国際交流で訪れたルーマニアで、バスドライバーのジョージさんと過ごした三日間がその価値観を大きく変えた。彼は勉強が得意ではなかったらしいがそんなことは全く気にせず、ユーモアに溢れ人を笑顔にし、自分の人生を心から楽しんでいた。その姿に触れ、「幸せは学歴や肩書きでは測れるものではない」と強く感じた。それまでの私は勉強に追われ自分を追い込みすぎて苦しい時もあった。しかしジョージさんの姿に触れ「幸せの形は人それぞれだ」と気付かされた。多様な幸せを認め合う社会こそが「世界の幸せ」に近づけるのではないかと。私はルーマニアで価値観を大きく広げてもらったが、今度は私がその経験を周囲に伝えたい。そして進路を選ぶときもワクワクできる道を歩みたい。「幸せの多様性」という気づきを言葉にして広げれば、地域や国を超えて互いの幸せを認め合う大きな力になるはずだ。誰もが自分らしい幸せを見つけ、尊重し合える世界の実現に向けて、小さくても貢献していきたい。

【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	1,042	329	1,371
京都府	579	742	1,321
大阪府	597	1,093	1,690
兵庫県	237	675	912
奈良県	151	80	231
和歌山県	159	19	178
計	2,765	2,938	5,703

賞の種類(中学生・高校生共通)

個人賞	最優秀賞	3名
	(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)	
	優秀賞	3名
	審査員特別賞	4名
	国際協力特別賞	10名
	国内機関長賞	各都道府県1名以下
	佳作	70名程度
	【副賞】最優秀賞・優秀賞: 海外研修	
	その他個人賞: フェアトレード商品	
学校賞	60作品以上または全校生徒の3割以上応募	
	(副賞: 表彰メダル)	
特別学校賞	5年以上連続学校賞受賞(副賞: 表彰楯)	

【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生を対象に、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962 年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2025 年度は高校生の部が 64 回目、中学生の部は 30 回目を迎える事業。k

中学生の部の審査員長は尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部の審査員長は星野知子氏(俳優・エッセイスト)に担っていただいた。

今年度をもって本事業は終了する。今後 JICA は、探求学習に活用できる教材の提供や JICA 海外協力隊等のオンライン出前講座の拡充などを通じて、新たな形で中高生の学びを支援していく。

[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP](#) (右 QR コード参照)

